

9月、脂がのりホソマに美味しい秋刀魚の季節、震災の影響が一匹 200円の値段は庶民の口にはかなり高価ですが、旬の味で活力を付けたいものです。

2年前、金銭的な理由から2009年9月に断行予定であった公設民営化を、「指定管理者公募 無し」の状況から、“みらいエフビー”が仲裁に入ったのか？ 行政側が医療法人「徳州会」に懇願することにより漕ぎ着けた公設民営化。当初の思惑とは懸け離れた状況の中、訴訟まで起こる始末、結末は知らされません。

行政が間に入り、行政側の自己防衛の為に、責任転換の手段として両者が使われ、都合の悪いことには口に出さないから本筋の話合いが成されていない、交渉になっていない状況。口を挿めば責任転換の矛先にされ、誰も何も出来ない状態。行政の姿勢が定まらない状況、指摘しても訂正なく、曖昧な誤魔化しの姿勢、当時の行政の姿勢を述べた下記 の状況から 改められません。

「借金をさらに膨らましている状況、大元の原因は 勝手・気ままな 地方自治の住民に対する「医療のコンビニ化を助長する政策、そしてこれに乗せられてしまった住民」、行政が聞く耳を持たず、十分な議論も無く起った「浜松医大からの派遣医師の引き上げ」これが脳外科医からはじまり、循環器内科医全員引き上げに及んだこと、そして最終的には 病院側の「救急医療放棄」につながった」

(平成21年9月15日 康寿診報 第144号 送付文)

上記の過程も、公設民営化の過程 その後の徳州会との交渉事も、都合の悪い多くの事は市・町においてクローズに隠蔽された状況。脱皮出来ません。

私もこの地に開業する医師として、呆れ果て力が尽き、これらの件に関して、語るのが嫌になり、本誌“康寿診報”の発行すらも避けて半年程、充電の期間とも言いますか、気持ちよく怠け 外から眺めてみる時間をいただきました。申し訳ありません。父 康二には弁明・言い訳として、下記 に示しました。

親父 加藤康二さんへ

前略

“正面から Breakthrough(難関突破)” これについて「かなり大きなエネルギーが必要だ」と思い知る時を過ぎまして、毎日を坦々と淡々と「前に進むのが大変でも絶対後退しないぞ」と省エネに努める状態に変わっております。

康寿診報 気持ちよく怠け、久々発行の9月号P1は康二さんに当て付けで言いたい事です。第二次世界大戦“戦争”について息子の私に対して何か美化して都合の良い事としてしか伝えていないのではないのでしょうか？

<中略>

平成23年8月28日

東日本大震災から半年が経過します。戦後66年が経過しました。

戦争を知るお年寄りには口を閉ざすべきではない。今の現実、誤魔化し・隠蔽、魔術的な“今だけどうにかなれば”の世の風潮に流されては 何も出来無い。

常識的な情報開示の上で、疑問・間違いは“確”と問い、話し合い・交渉の場を持ち、指摘され不備を認めたら「正す」べき事。当然の帰結です。

Jリーグ ジュビロ磐田、落差の大きなチーム状態、上に行くには、ネガティブな状況での踏ん張り 耐え・忍び・堪える力 これが必要。相手に得点させない事、康寿診報 160号 送らせて頂きます。

平成23年9月1日 加藤寿夫

《平成23年9月 康寿診報 第160号 送付文》

ホームページが新しくなりました。<http://www.katojin.jp> ぜひご覧ください。

裏面は3月28日 吉田町町長 田村典彦氏に示した内容の再提示、“お袋 雅子との交信”内容「雅寿の文言」一つのけじめである執筆中の(100) 提示します。

2011年3月11日(平成23年)午後2時46分 東日本大地震から 間も無く半年が経過します。平時から緊急時に備えておく“事”が必要で、これを 我々医療人の集まり 三師会(医師会・歯科医師会・薬剤師会)等と 地方自治・地域支援病院等がお互い 確認し合い、住民と密接な信頼関係を築く“事”。当然の帰結です。

下記 は、今年春 東日本大地震の後 “吉田町町長へ提示した文面”です。何の返答も無く、保健医療協議会も行われないうままです。下記については 私から 榛南の市・町長には伝達済であり、榛原医師会の吉田町の担当理事・会長等には交渉の場を持ち、情報を共有し、現時点で成す事を 何度もお願いしております。

吉田町 田村典彦町長 御机下

前略

先日 3月16日、平成22年度 保健医療協議会の開催中止につき通達がありました。「町防犯まちづくり推進協議会」「交通安全対策委員会の表彰式」等は開催されたようですが、どんな状況でしょうか？ 討議すべき内容は 山積された状況です。

<中略>

十分な討議の時間は無いと思われませんが、開催中止決定であれば、最低限の必要事項として、先日お伝えした 以下 ~ ついて、更に追加として について、簡潔明瞭に 書面等で返答していただけると、我々の士気も向上するものと思われます。お願いします。

以前 委託で 医師会が行っていた“健康大学”の評価について  
新聞記事“15億円”の内訳について(11/2 保健医療協議会で提示)  
“みらいエフピーの提訴”について

各種予防接種の 吉田町としての 補助のバランスについて

11月2日の 保健医療協議会の 録音・議事録について

榛原病院からのモービルCCUの稼働・運営状況について

災害発生時 我々医師団に伝えておくべき状況について(特にヨウ化カリウム、赤タミフル等の管理 緊急時の配給について)

我々の感覚といたしましては、行政 特に 貴方 町長 田村典彦氏と、我々医療人との間に、一定のギャップが在り、この溝を出来る限り埋めていく努力が必要に思われます。

<中略>

平成23年3月28日

医療法人康寿会 加藤内科医院院長 加藤寿夫

No.2011-3

のヨウ化カリウムの扱いについては 榛原医師会会長に 備蓄の状況(場所・量等)について 正確な情報をお願いしております。また、東日本大震災 3.11の際「津波に対して「吉田町を除いて…」と 海岸沿いに避難勧告が無かった“事”」について、吉田町広報等での町長の弁 “事が無かったから言える事”で、被災地で “防波堤が決壊した状況”等を鑑み、今後 “想定外”という言葉を使わずに事を成す様に、医療情勢等も含め、後世に付けを残さない施策を願いたいものです。

記録の重要性と 広く周知する必要性を鑑みて、上記内容 再度掲載しました。

「人に指摘された“事” 先送りする事 無かれ」

たとえ 敵対する相手でも、相対する人 これに指摘された“事”、特に 都合の悪い“事”であれば 尚更、“事”を先送りする事 無かれ。

その場で 解決し 結論する事、結論に基づき行動し 相手にボールを投げ返す迄、事を成すとは 相手がボールを受け取る事、これを見届ける事。

少なくとも 己の胸の内・腹の中で 未解決と言わせぬ迄 事を成して 次へ進め。相手にボールを投げ返し 受け取る迄、これを見届ける事。

《人間たる所以 その(100) 雅寿 2011.7.》